

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	LEIF仙台上杉		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 9日		～ 令和 8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 9日		～ 令和 8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	令和 8年 2月 9日		～ 令和 8年 2月 28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者共有	学校での様子や支援内容を毎回共有するようにしている。	毎回の共有を通して、保護者のニーズに合わせた支援を継続していく。
2	訪問先施設連携	対象児童の状況を把握した上で、訪問先施設との連携を図るようにしている。	お互いの連携がスムーズになるように、連絡する時間帯の工夫や仕組みを整えていく。
3	利用児童に寄り添った関わり	利用児童の求めていることを把握し、訪問先施設内での円滑な支援につなげている。	利用児童がストレスを感じないような関わりと距離感を意識して支援していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内連携	訪問支援の様子を事業所内で共有できる仕組みの確立。	訪問支援と放デイを絡めた共有の場を設けていくようにする。
2	訪問支援の形	利用児童と保護者、訪問先施設の状況に合わせた、オーダーメイド型の訪問支援を確立させていく。	訪問支援の内容にミスマッチが起きないように共有を適宜行うようにしている。
3	訪問支援の認知度	放デイ利用者以外の方へ訪問支援を周知する機会がない。	地域全体へ訪問支援を認知してもらえるよう、発信力を高めた取り組みを意識していく。